

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 大牟田市立銀水小学校（※正式名称を記載）

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫※注 1

☐ 中学校 ☐ 中高一貫※注 2 ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒837-0916

福岡県大牟田市田隈239番地

E-mail ginsui-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/ginsui/es

幼児児童生徒数 男子 247 名 女子 199 名 合計 446 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「地域とのつながり、直接体験の重視」を活動テーマとして、ESD を環境、経済社会の面において持続可能な将来が実現できるような価値観と行動の変革をもたらすことと捉え、ESD の実践を通して「人」とのつながりから、共生社会の生き方について考える力の育成を目標とした。

具体的には、環境・エネルギー、地域遺産・世界遺産、人権・福祉を柱に、①身の回りの環境に係わる活動、②地域の文化遺産に係わる教育、③障害を持った方との交流に係わる学習、④お年寄りとの交流に係わる学習を行った。

### ① 身の回りの環境に係わる活動

銀水小学校の樹木について調べたり、身近な昆虫・小動物を飼育して調べたりする活動を通して、分かったことを生きもの図鑑にまとめ、発表する活動に取り組んだ。また、樹木や草花、昆虫に詳しい GT の先生に出会い、実際に見て回りながら説明を受けることで、調べたことの確認や新しい発見から身近な生き物に関心を持ち、大切に生活していこうとする思いを持つことができた。

## ② 地域の文化遺産に係わる教育

家族や地域の人にインタビューしたり、パンフレットや本などから、詳しく調べたいことで学習計画を立てたりしながら、自分が選んだ大牟田のよいところについて調べることを通して大牟田の行事・名所・特産物などをまとめて交流する活動を通して、郷土のよさに気づき、それらを知ってもらいたいという郷土を愛する心情を持たせる。また、地域に残る文化遺産を実際に見たり、パンフレットや本などの資料から調べたりしたことを、工夫して表すことができた。

## ③ 障害を持った方との交流に係わる学習

福祉教育のとの関連から、点訳ボランティアの方や目の不自由な方との交流を通して、苦労・努力・工夫・願いを知り、目の不自由な方と共に生きるためのまち作りやユニバーサルデザインなどについて調べる学習を仕組んだ。特に、アイマスク体験や目の不自由な方との交流を通して、自分にできることはないかを考え、いろいろな人と進んでかかわりを持とうとする気持ちを育てることができた。

## ④ お年寄りとの交流に係わる学習

身近なお年寄りについて話し合ったり、高齢者疑似体験をしたりして、お年寄りについて調べ、自分たちにできることを考えて交流しよう。という課題を設定することから、高齢者福祉施設の方に来校してもらい、認知症についてのお話を聞きながら、お年寄りとの交流計画を立て、その実践を通して、お年寄りの生活や環境、思いや願いについて調べる学習を行った。調べたことをもとに、お年寄りとのよりよい関わり方について自分の考えを持ち、交流・実践しようとする態度を育てることができた。また、学校行事の学習発表会への招待状を送った。



① 校庭の樹木調べ



② 校区の身近な遺産調べ



③ アイマスク体験



④ お年寄りとの交流

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「オリンピック、パラリンピックに関する指導参考映像資料」(スポーツ庁)  
「みんなの環境」(福岡県)  
「ふれあうことから始めよう 高齢社会がわかる本」(くもん出版)  
「子ども大牟田検定ガイドブック」(大牟田市教育委員会)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校におけるESDの実践を通して、持続可能な開発のために求められる原則・価値観及び行動があらゆる教育や学びの場に取り込まれることを基本に、「持続可能な社会を構築するための人づくり」を目的とし、地域の特色から環境・人間・福祉・ボランティア・国際理解などの横断的・総合的な課題の学習を行う。それらの活動を通して、地域と直接関わる体験を重視し、自ら課題を見だし、主体的に問題解決できるようにした。また、具体的な授業において、年間の見通しをもって取り組んでいけるよう「ESDカレンダー」を作成し、他教科領域との関連を図りながら、授業実践を行い、随時、付加・修正し、見直しの改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

次年度の総合的な学習の時間の指導内容を計画するときに、担当の教師を中心に指導内容に加えて指導体制や地域との協力体制について今年度の実践の反省をもとに、学習が効果的に進められるようにしている。その際、各学年のねらいを明確にし、学習内容と各教科等や各学年間の連携を図り、系統的・発展的な指導ができるようにし、各学年の学習内容に応じた地域の人材を確保に努め、地域のひと・もの・ことを生かした学習を進めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学習発表会や活動報告パネルの展示、学校便りなどを通して、ESDの内容や意義について保護者や地域の方に発信することができた。「ひと・こと・もの」とのつながりやかかわりを大切にした学習が行われていることに大変好評価をいただいている。

学校関係者評価委員会でも、特色ある教育活動としてESDの取り組みを紹介し、評価してもらっている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

1月にユネスコスクール記念集会を行い、子ども達の学習の取り組みや成果などをパネル展示したり、代表学年による報告・発表をしたりしている。また、2月に学習発表会で低学年による生活科学学習の取り組みを中心とした発表等で、保護者や地域の方へ発信している。これらのことを通しながら、本校ESDの取り組みを保護者や地域の方へ発信することが出来、今後の取り組みに対しての協力体制ができています。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

3年生と5年生での福祉教育において、地域の社会福祉協議会と連携し事前の打ち合わせを行いながら、障害をもった方々との交流でのGTの要請。またアイマスク体験や車いす体験での必要な用具の借用を行っている。また、地域の高齢者福祉施設とも連携して、お年寄りとの交流計画やその実践活動を行うことにより、地域と直接関わる体験することにより、子ども達が自ら課題を見だし、主体的に問題解決できるようにしている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

先進校である横浜市立永田台小学校を視察し、学校教育活動全体に係わる取組について学ばせて頂いた。今後は、それぞれの取組について児童間の交流を図り、発展させていくようにしたいと考えている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

今年度から新たに設定したカリキュラムとして、「環境・エネルギー」における3年生「生きものはかせになろう」では、身近な昆虫を飼育したりや草花を育てたりする活動から、それらの成長や変化に関して様々な環境の影響に目を向け、子ども達に興味を持たせながら実践させていくことができた。また、5年生「共に生きよう銀水」お年寄りとの交流計画における高齢者福祉施設との連携した取り組みも、時期やその単元計画の見直しと改善をくり返しながらか定着してきている。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

1年生「みんなみんな大好きだよ」（福祉・ボランティア）10時間  
2年生「レッツゴー！町たんけん」（環境）12時間  
3年生「めざせ、生きものはかせ」（環境）22時間  
「心をつなごう、銀水っ子」（福祉）22時間  
4年生「取り組もう、ごみ減量生活」（環境）21時間  
「見つけよう、銀水の宝」（地域遺産）16時間  
「知ろう、大牟田のよいところ」（地域遺産）8時間  
5年生「共に生きよう、銀水っ子」（福祉）21時間  
「知ろう、世界のよいところ」（世界遺産）10時間  
6年生「守っていこう、郷土の歴史遺産」（世界遺産）20時間